

飛騨市の大事な産業、「農業」。皆さんに飛騨市の農業を知ってもらい、少しでも興味を持っていただくことを目的に、「農業生産現場の知られざる秘密」、「困りごと」及び「農業で働く方の体験談」など、市内の農業に関わる幅広い情報を「HIDA アグリタイムズ」として発信します！ぜひご覧ください。

Scoop! 農家さんにインタビュー！冬の間の過ごし方特集！

農家さんの多くは、春～秋にかけて種まき～出荷を行っています。
夏の間、一生懸命に働いた農家さんは、冬の間はどんなことをしているのか、気になりませんか？
雪深い飛騨で、冬の間の農業は難しいかも、、、と思いませんか？
そこで、冬の過ごし方について、インタビューを行いました！リアルな声をお楽しみください！



神岡町森茂 清水 琢也さん（ほうれんそう農家）

Q1 冬の間の過ごし方は？



「寒干し大根」の栽培を行っています。切り干し大根として加工販売も行っていきます。そのほか、**除雪**を頼まれることもあります。

切り干し大根は、もともとは商品にならない大根のロス削減のためにはじめました。いまでは、リピートしてくれるお客さんがいるほど人気商品になりました。

また、冬場の栽培を楽しくするため、**大根のライトアップ**や**プロジェクター投影したもの**を SNS へ投稿するなどの取り組みを行っています。

Q2 将来の夢・目標を教えてください。



農業は人の手がいる仕事。でもほうれん草がメインの料理は少なく、全国的に産地も減ってきています。

料理するように、**仕事同士をうまくかけ合わせた街づくり**に貢献したいです。

宮川町杉原 松永 宗憲さん（トマト農家）

Q1 冬の間の過ごし方は？



お世話になっているお客様を訪問しています。昔からの付き合いのある飲食店や、リピートしてくれるお客様に会いに行きます。大切なお客様に直接感謝を伝えることができ、情報収集もできる。貴重な機会です。

また、**ガソリンスタンドの経営**をおこなっています。経営者が辞めるとの声を聴き、地域で1か所しかないインフラが無くなってしまうと、困る住民も多いことから、若手4人で出資して引き継ぎました。

Q2 将来の夢・目標を教えてください。



地域が沈むとみんなの心も沈んでしまう。**みんなの気持ち**が上向きような取り組みをしていきたいです。

ガソリンスタンドはそのきっかけで、次のステップを仲間たちと考えているところです。

河合町新名 尾崎 大悟さん（露地野菜農家）

Q1 冬の間の過ごし方は？

狩猟やきのこの収穫をしています。

10月下旬～11月にかけて、近くの山で天然のなめこが取れます。11/15から猟が解禁されるので、それに合わせて入山します。もともと外で体を動かす仕事がしたく農業をはじめたので、冬も楽しく過ごせています。

そのほか、近所2～3軒から**除雪や屋根の雪下ろし**を頼まれることもあります。

Q2 将来の夢・目標を教えてください。

道具・機械は一通りそろえました。**しいたけ栽培**をやめる人からハウスを譲り受けたので、自分の圃場にもっていき、規模拡大する予定です。また、**河合の近所に移住や就農で若い人が増えてくれる**と嬉しいです。



古川町笹ヶ洞 井下 康弘さん (トマト・きのこ農家)

古川町黒内 池田 俊也さん (トマト農家)

Q1 冬の間の過ごし方は？

冬仕事として、コンテナでしいたけ・きくらげの栽培をしています。

菌床ブロックを購入し、コンテナにて温度・湿度管理をしながら栽培します。11～3月にかけて収穫ができるので、冬も休みなく働いています。

そのほか、**来年の分の仕入れ**を行います。

Q2 将来の夢・目標を教えてください。

腰高ハウスを譲ってくれるところを見つけたので、古くなったハウスと入れ替える予定です。

家族3人で経営しているので、規模拡大には限界があります。**栽培技術の向上**をめざし、研究することにより、**ほどよく休みをつくれる**ようにしていきたいです。

Q1 冬の間の過ごし方は？

イチゴ・しいたげの栽培をしています。

イチゴは12月上旬～5月いっぱい収穫、しいたげは11月～5月いっぱい収穫しています。しいたげはJAに出荷していますが、いちごは観光農園(いちご狩り)がメインです。子供が食べたいと言ってくれたこと、観光×農業の需要があることから、昨年からは栽培を開始しました。

Q2 将来の夢・目標を教えてください。

トマトをベースにしつつ、**観光農園**としていちごに力を入れていきたいです。観光において、体験・交流の需要は増えているので、現地に来ないと楽しめない価値づくりをしていきたいと思っています。

また、**露地野菜の有機栽培**にも興味があります。

古川町畦畑 森本 悠己さん (露地野菜農家)

古川町東町 水村 哲也さん (ねぎ・アスパラガス農家)

Q1 冬の間の過ごし方は？

伝承作物である白たまごや、青大豆、黒大豆を使った**豆パウダーケーキ**を制作・販売しています。お菓子をきっかけに飛騨の豆を知ってほしいと思い作り始めました。

夏場には、畦畑の自然そのものの味を楽しんでほしいと思い、肥料や農薬は使わない**自然農法**で野菜を育てています。そのため量は多くは作れませんが、そのぶんおいしい野菜をどうおいしく食べてもらうか、を大事にしています。

Q2 将来の夢・目標を教えてください。

これからも畦畑の良さ、自然の味の美味しさを伝えていけるように、**自然農法を続けていきたい**です。畦畑の野菜をつうじて、飛騨を気に入って移住してくれる人や、農業を手伝ってくれる人が来てくれると嬉しいです。

また、五平餅やせんべいなど、飛騨には米を使ったお菓子がすでにありますが、飛騨のおいしいお米の良さを広めるために、**米を使った新しいお菓子を作りたい**です。

Q1 冬の間の過ごし方は？

ねぎの収穫・調整作業をしています。例年12月まで作業をすることが多いです。次シーズンの種まきが2月終わりに始まるため、貴重な2か月間の休みはゆっくりと過ごしています。

また、アスパラガスはビニールハウスで栽培しているので、ハウス間に雪がたまってしまいます。定期的に見回り、**雪かき**をしています。

Q2 将来の夢・目標を教えてください。

アスパラガスが冬でも収穫できる**「伏せ込み栽培」**に興味があります。

そのほかにも**肥料の配合の研究**もしていて、堆肥の導入も試験的に行おうと考えています。

また、作業は自分が主になって行っていますが、家族に覚えてもらい、任せられれば作業効率が高まるし、休みも作れるので、協力して進めていきたいです。

いかがでしたか？ 皆さん、夏とは一味違う過ごし方をしていますね！

ご紹介したインタビューのほか、

- ・確定申告の手続き・来年の事業計画・冬は家族で過ごす時間を大事にしている・家でゆっくり過ごしている
- ・コロナが収まったら海外旅行に行きたい・新しい技術の勉強・研究に充てている

という声もお聞きしました！ インタビューにご協力いただいた農家の皆さん、ありがとうございました！

お問合せ 飛騨市役所 農林部 農業振興課 農業なんでも相談窓口(飛騨市古川町本町 2-22)
☎ 0577-73-7466 FAX: 0577-73-0071 MAIL: nougyoshinkou@hida.city.lg.jp



◀最新の求人情報はこちら！
(WEBの見られない方はお問合せください)